

2024

12

品質保証だより

December

今月のお知らせ

日本における食品ロス(まだ食べられるのに捨てられてしまう食品)は、年間約472万トン発生しています。このうち半分である236万トンが食品関連事業者からで、規格外品・返品・売れ残りなど。残りの236万トンが一般家庭からで、食べ残し・廃棄などによるものです。食品ロスが大量に発生することは、食べ物を無駄にすることの他に、処理にかかる費用や、二酸化炭素排出の増加など環境影響にもつながります。

年末年始は家族や親せき、友人たちと集まる機会が多くなりますが、

- ① 買いすぎない
- ② 作りすぎない
- ③ 食べ残さない

で食品ロス削減に取り組むとともに、期限表示や保管状態に注意して、食中毒につながる細菌の影響を防ぎましょう。





商品検査レポート



10月に実施した商品検査の結果をご案内します。

微生物検査	検査数	店舗新規商品において「水産2商品」が一般生菌にて不適合となり、取扱わないこととしました。
	994	

理化学検査	検査数	340
-------	-----	-----

主な検査項目	食品添加物	簡易農薬	畜種判定	残留農薬※	ヒスタミン	カビ毒	放射性物質
	79	10	6	9	56	6	17

※コープ・ラボへ依頼

毎月の検査結果は HP にも記載しています。

<https://www.naracoop.or.jp/goods/letter/koedayori.html>